はなのき

神坂小学校だより　№10　2024.12.19

神坂小学校の３つの校歌

校長　伊藤　博章

校長室前の壁面には、神坂小学校の統合の足跡として、３つの校歌が掲示してあります。昨年度に赴任した私は、現行の校歌しか知りません。その校歌を始業式で初めて聴いた時は、驚きと感動で心と体が震えたことを覚えています。少ない人数であることを感じさせない元気な歌声、笑顔と大きな口で歌う一人一人の表情、体でリズムをとりながら歌う楽しそうな姿勢、すべてが感動ものでした。さらなる驚きは、前奏と間奏に入る子供たちによるリコーダー演奏でした。教職に就いて以来、いくつもの学校に赴任しましたが、リコーダー演奏が入る校歌は初めてでした。

さて、11月から12月の間に、神坂小学校の校歌を大勢の前で披露する機会が３回ありました。11月9日の神坂小学校文化祭では、6年生が３つの校歌を「校歌メドレー」という形で発表しました。12月4日の神坂中学校文化祭では、合唱を聴かせていただいたお礼に、全校で現行の校歌を歌いました。12月5日の中津川市小中校長研修会では、神坂学校が研修会場となったため、市内28小中学校の校長先生方に、子供たちが元気に歌う姿を見ていただきました。

これらの発表を聴いてくださった方々からは、「とても感動したので、もっとたくさんの人に聴いてもらいたい。」「統合で聴けなくなるのはもったいないし残念。」「初めて聴いたけど、校歌にも子供たちにも感動した。元気をもらえた。」等の感想をいただきました。

神坂小学校の校歌を歌う子供たちの姿は、本校の宝物の一つです。合唱を通して自信を高め、統合に向かっていきたいです。

神坂小学校　校歌

作詞　伝田青磁
作曲　伏見三男人

一.
神の神坂と歌われて
ふるい文化のこる村
つよく明るく育ちつつ
学ぶわれらのたましいに
父祖の血しおが流れてる

二.
山は梵天　川は木曽
この美しい学校に
あさゆう学ぶたのしさに
われらを思う世の人の
ふかい心が身にしみる

三.
とおく南に恵那のみね
馬籠峠を北に負い
心ゆたかに手を組んで
清くあかるい村作り
わかい力が盛り上がる

旧山口村立神坂小学校　校歌
昭和36年11月20日　披露

神坂小学校　校歌

作詞　西尾潔
補作　古山新資
作曲　原淳

一.
夜明けの光　空をそめ
うすむらさきの　恵那の山
芽吹く花の木　すくすくと
明日へ伸びる　僕たちは
つよい体の　神坂の子
やさしい心の　神坂の子

二.
さざ原わたる　風の音
けやき平に　こぶし咲く
手と手をつなごう　君とぼく
明るい歌声　こだまする
明日をつくる　神坂の子
希望に輝く　神坂の子

三.
湯舟の沢に　水走り
小森の里に　小鳥鳴く
豊かな自然に　はぐくまれ
とうとい歴史に　めぐまれる
郷土をきずく　神坂の子
明日へはばたく　神坂の子

旧中津川市立神坂小学校　校歌
昭和63年3月5日　披露

神坂小学校　校歌

～あの山と空のように～
唐沢史比古　作詞・作曲

一.
恵那の山　あおぐ空
せせらぎに　心めざめ
春の道　ふるさとの
そよ風は　心あらう
坂の向こうには
萌える若葉が広がり
かなた夢と　今を歩く
あの山のように　大きく

二.
椛の樹の　そよぐ窓
語らいと　歌はあふれ
秋の道　ふるさとの
爽やかな　歌はひびく
谷の向こうへと
鳥ははるかに羽ばたき
かなた夢と　高く飛ぶよ
あの空のように　大きく
輝け　地球（ほし）の子

中津川市立神坂小学校　校歌
平成19年11月4日　披露